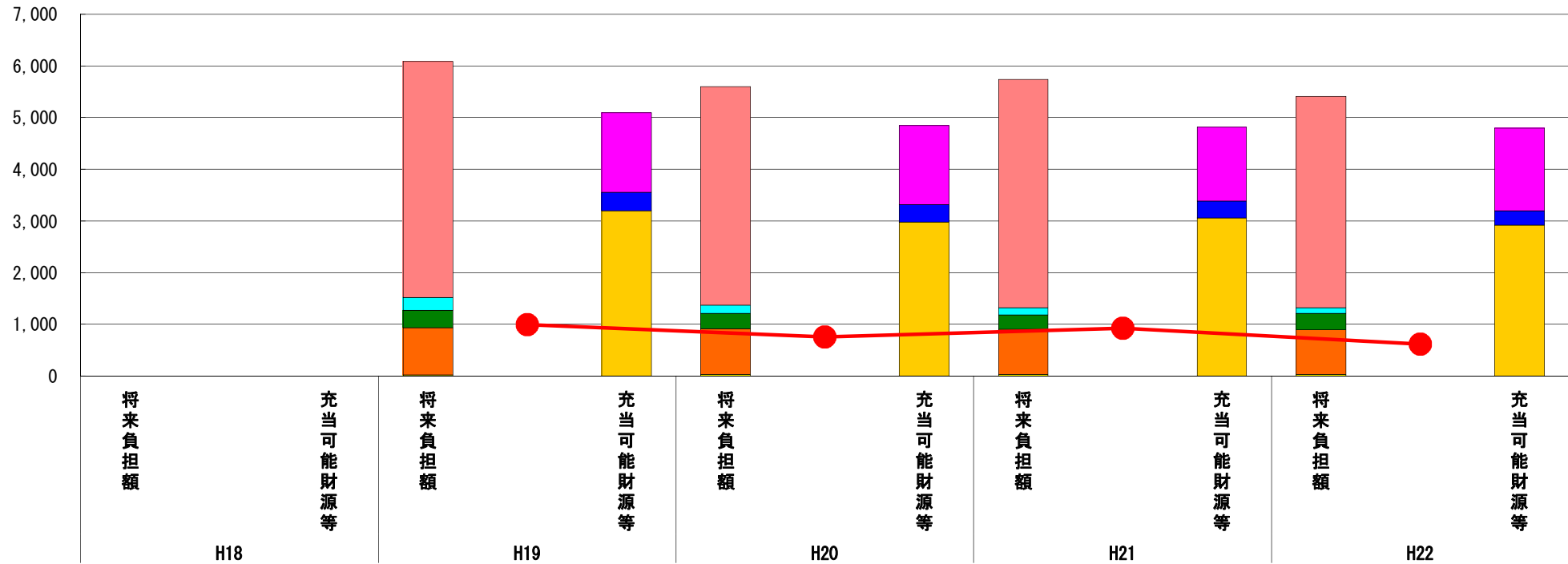


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道新篠津村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	4,561	4,227	4,420	4,094
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	255	161	135	110
	公営企業債等繰入見込額	-	333	299	279	312
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	-	916	881	877	872
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	18	32	29	25
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	1,533	1,525	1,432	1,601
	充当可能特定歳入	-	361	346	326	276
	基準財政需要額算入見込額	-	3,194	2,974	3,058	2,917
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	994	755	923	619

分析欄

近年の将来負担額は減少の方向に進んでいるが、主な要因としては、過疎地域指定の解除により過疎債の借入が終了したことで、新規地方債発行額が抑制され、借入金の減少と償還が進んでいることにある。
また、債務負担行為に基づく支出予定額も減少の方向に進んでいることから、今後も将来負担額は縮減が図られると考えられる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。